



第 6 章 計画の推進にあたって

計画実現に向けた関係者の役割

本計画で示す「基本目標」の実現のためには、農業者をはじめ、県民、農業関係団体、市町村等がそれぞれに期待される役割を理解した上で、連携・協働を図りつつ、役割に応じた積極的な取組が重要となります。

農業者

農業者には、安全・安心な食料の安定的な供給に資するとともに、地域社会や経済を支える重要な役割を果たしていることにやりがいと誇りを持ち、市場の動向や多様化する消費者ニーズを的確に捉え、農業者自らの創意工夫によって未来を切り拓き、夢の実現に向けて意欲的に農業経営を展開することが期待されます。

農業関係団体

● 農業協同組合

農業協同組合には、時代の変化に柔軟かつ適切に対応し、営農指導をはじめとするサービスの提供や経済事業等の適切な遂行を通じて農業経営の向上・安定に貢献するとともに、県や市町村、関係機関・団体等と連携しながら、担い手育成や産地づくり、農村地域の活性化等に中心的な役割を果たすことが期待されます。

● 農業委員会

農業委員会は、農地の権利移動や農地転用の許認可、遊休農地の解消等、農地制度の適切な運営だけでなく、新規参入促進や法人の育成、農地集積を通じた経営合理化の支援等、地域農業の維持・発展に重要な役割を担っています。

今後も、農地の利用最適化に向けて、関係機関と連携を強化し、その役割を十分に果たしていくことが期待されています。

● 農業公社

農業公社は、農地中間管理機構として貸借等による農地の集積・集約化を推進するとともに、農業後継者の定着化や農業青年の活動への助成、就農啓発や就農相談の実施、農業者への各種情報提供等の事業を行っています。

今後も、関係機関と連携して、公益事業の成果拡大により、本県の農業振興に寄与することが期待されています。

● 農業共済組合

豊かな自然の恵みを楽しむ農業は、常に自然の脅威と隣り合わせであり、農業経営の安定を支える農業災害補償制度は、農業の発展に大きな役割を担っています。

本制度への加入促進に努めるとともに、より一層の合理的・効率的な制度運営やガバナンスの強化等、事業運営基盤の強化を図ることにより、今後も、セーフティネットとしての機能が十分に発揮され、農業経営の安定化に寄与することが期待されます。

◎ 土地改良区

土地改良区は、土地改良施設の管理・整備や水利用・土地利用の調整を担う機関として、農業・農村の振興に大きな役割を果たしています。

今後も、組織運営基盤の一層の強化を図り、適正な運営体制のもとで地域社会の発展のために様々な農業振興活動へ積極的に取り組むことが期待されます。

消費者

農業・農村は、健全で豊かな食生活を支えるとともに、県土の保全、美しい景観の形成、生活や憩いの場の提供など、多様な機能を有しています。

将来にわたって、農業・農村の有する多面的機能を発揮していくため、農業者との交流活動や食育・地産地消運動等への参加を通じて、「食」と「農」についての知識や理解を深めていくことが求められるとともに、地域資源の保全活動への積極的な参画と協働により、地域コミュニティを共に支える役割が期待されます。

市町村

市町村は、農業者に最も身近な行政機関であることから、少子高齢化・人口減少社会が進展する中、農業の振興、農村の活性化に果たす役割はますます重要となっています。

本計画の推進にあたっては、農業者や地域住民等と地域の将来の目指す姿を共有し、地域の特徴や実情に応じたきめ細かい取組を展開するなど、魅力的な地域づくりに向けて、主体性を発揮することが期待されます。

県

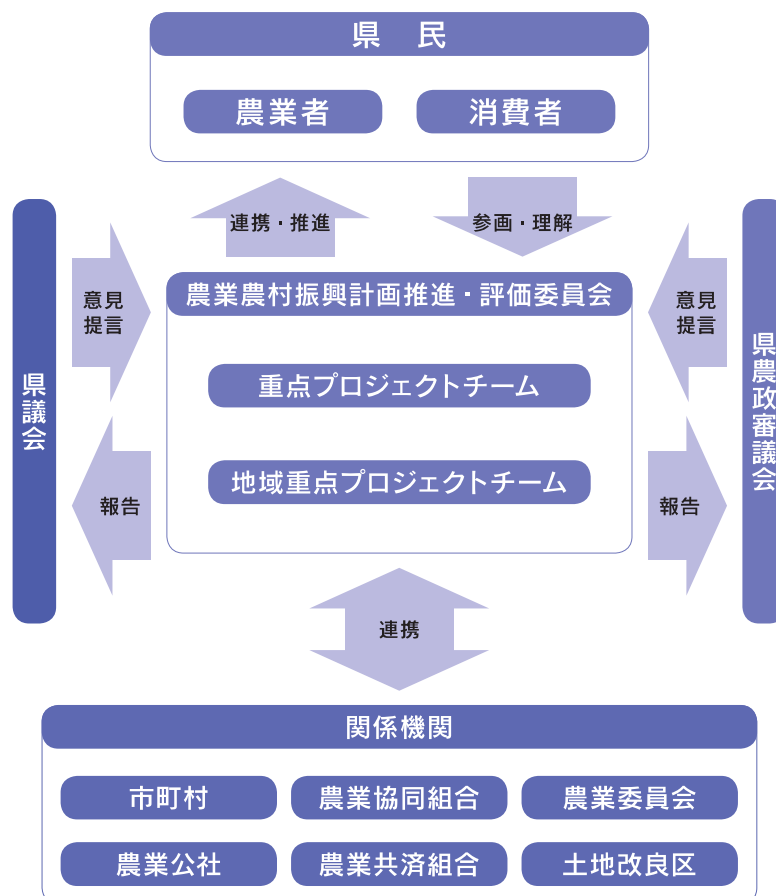
県は、急速に進行する社会経済のデジタル化、人口減少による国内市場の縮小、グローバル化の進展、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会的・経済的な変化等への的確な対応を図りつつ、本県の特性と実情に即した中長期的展望に基づいた農政の基本指針を示し、県民、農業者、農業関係団体、市町村等と連携・協働を図りながら、総合的な施策を推進する役割を担っています。

本県の農業と農村が持つ可能性を最大限引き出し、未来に向けて農業者が元気に躍動して、県民誰もが豊かさを享受できるよう、「未来へ紡ぐ！豊かで成長し続ける農業・農村の確立」に向けて、各種施策を推進します。

計画の推進・評価体制

計画の推進に当たっては、施策が適切に実施されるよう、計画全体のマネジメントを行う「推進・評価委員会」を設置し、進捗状況の定期的な確認・検証を行います。また、県農政審議会をはじめ、県議会、県民に対して進行状況の報告・公表を行い、今後の計画推進や事業の施策立案に役立てます。

- (1) 「基本理念」に基づき、計画期間内での「基本目標」の達成に向けて、本県の農業・農村振興のための総合的・包括的な内容とした「基本施策」、「重点プロジェクト」、「地域重点プロジェクト」をより効果的・効率的に推進します。
- (2) 計画推進に当たっては、目指す姿として具体的な目標を設定し、その達成に向けてPDCAサイクルの実施による進行管理を行います。
- (3) 計画内容を着実に推進するため、年度毎に進行管理（年度別計画）を行います。その際、農業・農村を巡る情勢の変化等により施策内容や目標が現実と大きく乖離した場合には、必要な見直しを行い、適切な計画とします。
- (4) 本計画の実施に当たっては、計画と予算との連動性を強化します。



參考資料

用語解説

五十音順

用語	解説
ASIAGAP認証	JGAPの基準内容に加え、世界食品安全イニシアティブ（GFSI）要求事項を追加したGFSI承認の国際規格の認証制度
JGAP認証	GAPのひとつで、日本GAP協会による農場やJA等の生産者団体が活用する農場・団体管理の基準に基づいた認証制度
Society 5.0	サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会の総称
WCS	ホールクロップサイレージの略称で、青刈りした植物体の子実から茎葉までを乳酸発酵させた牛用飼料
エコファーマー	「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づき、都道府県知事が認定した、土づくりや化学肥料・化学合成農薬を減らす技術を一体的に取り組み、環境にやさしい農業を実践している農業者
グリーン・ツーリズム	農山漁村地域での自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動
群馬県6次産業化サポートセンター	6次産業化に取り組む農林魚業者等に対して様々な相談等に応じるために設置されたセンター
県動画・放送スタジオ「tsulunos」	県政や県の魅力を広く情報発信するために、群馬県庁32階にオープンした動画・放送スタジオ
人生100年時代	今後、寿命が伸びていくにあたり、国・組織・個人のライフコースを見直し、高齢者から若者まですべての人が元気に活躍でき、安心して暮らせる時代の総称
スマート農業	ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する新たな農業の総称
デジタルトランスフォーメーション（DX）	進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革することの総称
認定新規就農者	農業経営基盤強化促進法に基づき、市町村が地域の実情に即して効率的かつ安定的な農業経営の目標等を内容とする基本構想を策定し、その目標を目指して策定した青年等就農計画の認定を受けた者
認定農業者	農業経営基盤強化促進法に基づき、市町村が地域の実情に即して効率的かつ安定的な農業経営の目標等を内容とする基本構想を策定し、その目標を目指して策定した農業経営改善計画の認定を受けた者
農業生産工程管理（GAP）	食品安全や環境保全、労働安全等に関する危害を低減するために定めた生産工程毎の点検項目に沿って農作業の記録、点検、評価、改善を行うことにより適正な農業を実践する生産管理手法
農地中間管理機構	耕作を続けることが難しくなった農地を借受け、担い手がまとまりある形で利用できるよう農地を貸し付ける農地の中間受け皿的な組織
半農半X	農業と現金収入を得るための生業を組み合わせた働き方・生き方
人・農地プラン	地域や集落における担い手の状況や農地利用のあり方等を徹底的に話し合い、市町村が策定する地域農業の「未来の設計図」

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

参考資料

策定経緯

年月日	取組経過
平成30年 11月～12月	食料・農業・農村に関するアンケート調査 調査対象 県民(消費者) 約300名 農業者 約800名 農業高校・農林大学校等 約1,000名
平成31年 2月5日	群馬県農業農村振興計画推進・評価委員会
令和元年 6月4日	県議会農林環境常任委員会
6月18日	群馬県農業農村振興計画推進・評価委員会
7月12日	群馬県農政審議会
9月11日	群馬県農業農村振興計画推進・評価委員会
12月9日	県議会農林環境常任委員会
令和2年 2月10日	群馬県農業農村振興計画推進・評価委員会
2月14日	群馬県農政審議会
3月11日	県議会農林環境常任委員会
5月15日	群馬県農政審議会(書面開催)
6月8日	県議会環境農林常任委員会
9月10日	群馬県農業農村振興計画推進・評価委員会
10月5日	県議会環境農林常任委員会 ・計画骨子案について
10月30日	群馬県農政審議会 ・計画骨子案について
11月6日～11日	総合計画に関する特別委員会(集中審議)
12月8日	県議会環境農林常任委員会 ・素案について
12月18日～ 令和3年1月18日	パブリックコメント
令和3年 2月4日	群馬県農業農村振興計画推進・評価委員会(Web開催)
2月10日	群馬県農政審議会(書面開催) ・原案について
3月12日	県議会環境農林常任委員会 ・原案について

群馬県農政審議会委員名簿

平成30年7月～令和2年6月

五十音順 敬称略

氏名	職業・役職等
赤石 洋子	農業（トマト、加工品）、桐生みどり地域農業女子ネットワークCOLOR' s
石原 俊明	農業（酪農）、群馬県農業経営士協議会前会長
大澤 憲一	群馬県農業協同組合中央会・各連合会会長
熊川 栄	群馬県土地改良事業団体連合会会長理事、嬭恋村長
後藤 幸三	高山村長
佐々木 茂	東洋大学国際観光学部教授
竹下 裕理	野菜ソムリエ上級プロ、フリーアナウンサー、食育指導士
中沢 まち子	四万温泉協会理事、なかざわ旅館若女将
原 きよみ	農業（米麦、野菜）、群馬県農村生活アドバイザー
原沢 智子	農業（りんご）、6次産業化総合化事業計画認定事業者
堀越 恒弘	群馬県農業会議会長
松本 知恵	農業（トマト、加工品）、たのふじ起業ネット代表
三輪 民雄	農業（米麦、ミツバ）、群馬県農業法人協会会長
茂木 創	拓殖大学国際学部教授
矢島 亮一	NPO 法人自然塾寺子屋理事長

令和2年8月～

五十音順 敬称略

氏名	職業・役職等
赤石 洋子	農業（トマト、加工品）、桐生みどり地域農業女子ネットワークCOLOR' s
石原 俊明	農業（酪農）、群馬県農業経営士協議会元会長
大政 謙次	高崎健康福祉大学農学部長
唐澤 透	群馬県農業協同組合中央会・各連合会会長
熊川 栄	群馬県土地改良事業団体連合会会長理事、嬭恋村長
後藤 幸三	高山村長
齋藤 富男（8～12月） 中條 勝夫（12月～）	群馬県農業会議副会長
坂本 佳子	農業（施設花き）、(有)さかもと園芸代表取締役社長
高橋 孝明	農業（トマト、米麦）、(株)三光ファーム取締役
遠山 昌子	赤城フーズ（株）代表取締役社長
戸黒 努	農業（いちご）、ぐんま農業フロントランナーの会会長
原沢 智子	農業（りんご）、6次産業化総合化事業計画認定事業者
松本 知恵	農業（トマト、加工品）、たのふじ起業ネット代表
宮田 裕行	農業（コマツナ）、(株)国太郎代表取締役社長
矢端 晴美	農業（米麦、野菜）、(有)ヤバタファーム取締役

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

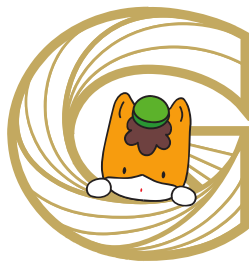
参考資料

未来へ紡ぐ！豊かで成長し続ける農業・農村の確立
群馬県農業農村振興計画
【基本計画】

令和3年3月発行

群馬県農政部農政課

〒371-8570 前橋市大手町一丁目1番1号
TEL. (027) 223-1111 (代表)
URL. <https://www.pref.gunma.jp>



**GUNMA
QUALITY**

